



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 秀章 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,691	10.5	185	11.4	200	15.1	156	17.6
2022年3月期第1四半期	2,435	3.6	166	4.2	173	5.2	132	8.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 175百万円 (197.0%) 2022年3月期第1四半期 59百万円 (△74.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	38.27	—
2022年3月期第1四半期	32.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,646	10,478	71.5
2022年3月期	14,479	10,455	72.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,478百万円 2022年3月期 10,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,000	6.3	150	4.7	160	2.7	117	1.5	28.72
通期	10,000	4.6	280	△6.5	320	△6.1	236	△16.8	57.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	4,150,000株	2022年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	71,263株	2022年3月期	71,263株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,078,737株	2022年3月期1Q	4,074,811株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、対面型サービスを中心に持ち直しております。消費者物価上昇率（生鮮食品を除く総合）は、原油価格上昇に伴うエネルギー価格上昇や食料品の値上げを主因として、2022年4月には前年比2.1%と消費税率引き上げ時を除けば2008年9月以来の上昇率となりました。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競争激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びウクライナ情勢による事業への影響については、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、引き続き積極的に事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、かねてより参入していたジェネリック医薬品の分野で、2022年2月に日本国内における製造販売承認を取得した高脂血症用剤（一般名：オメガー3脂肪酸エチル）が2022年6月に薬価収載され販売を開始いたしました。

また、当社グループの健康理念のもと、長年蓄積してきた原料調達ノウハウを駆使し、開発した当社独自の機能性素材であるローズヒップや、銀粒仁丹に用いたコーティング技術を発展・応用させたシームレスカプセル製造技術を駆使したフレーバーカプセルの受託の販売が堅調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,691百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益185百万円（前年同四半期比11.4%増）、経常利益200百万円（前年同四半期比15.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益156百万円（前年同四半期比17.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては前述のとおり、高脂血症用剤（一般名：オメガー3脂肪酸エチル）の販売が開始し、ジェネリック医薬品の安定供給を目指しています。また、それに加えて当社独自の機能性素材であるローズヒップでは、採用されたアイテムも増え前年同四半期と比べて6.0%の増収となりました。

この結果、売上高は、2,056百万円（前年同四半期比11.6%増）、セグメント利益は、49百万円（前年同四半期比55.1%減）となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ増収となりました。

また、産業用途でのカプセル開発にも長年取り組んできた結果として、外部との共同研究により、当社独自のシームレスカプセル技術を用いた化粧品カプセルの開発に成功しました。

今後も当社独自のシームレスカプセル技術を日本のみならず国外においても展開していくことにより、社会課題解決への取り組みをグローバルニーズへと拡げることができると考えています。

この結果、売上高は、634百万円（前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益は、135百万円（前年同四半期比140.4%増）となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、0百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は、0百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が75百万円、受取手形及び売掛金が87百万円、原材料及び貯蔵品が83百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は8,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは主に減価償却の進捗により有形固定資産が70百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、14,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が167百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に約定返済により長期借入金が62百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,168百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が19百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.5%（前連結会計年度末は72.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138	2,213
受取手形及び売掛金	2,040	2,127
商品及び製品	645	694
仕掛品	701	688
原材料及び貯蔵品	513	596
その他	231	177
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	6,258	6,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,420	1,387
機械装置及び運搬具（純額）	899	849
土地	1,891	1,891
その他（純額）	262	276
有形固定資産合計	4,474	4,404
無形固定資産	458	429
投資その他の資産		
投資有価証券	3,224	3,260
その他	64	65
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,288	3,326
固定資産合計	8,221	8,160
資産合計	14,479	14,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	983	1,150
1年内返済予定の長期借入金	280	267
未払費用	394	383
未払法人税等	72	87
賞与引当金	188	251
その他	211	214
流動負債合計	2,130	2,355
固定負債		
長期借入金	469	406
繰延税金負債	758	739
退職給付に係る負債	644	646
その他	20	20
固定負債合計	1,893	1,813
負債合計	4,024	4,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	967	967
利益剰余金	4,833	4,836
自己株式	△120	△120
株主資本合計	9,218	9,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,240	1,260
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	1,237	1,257
純資産合計	10,455	10,478
負債純資産合計	14,479	14,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,435	2,691
売上原価	1,189	1,431
売上総利益	1,246	1,260
販売費及び一般管理費	1,079	1,074
営業利益	166	185
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	11
その他	1	3
営業外収益合計	9	14
営業外費用		
支払利息	2	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	173	200
税金等調整前四半期純利益	173	200
法人税、住民税及び事業税	40	75
法人税等調整額	0	△31
法人税等合計	41	44
四半期純利益	132	156
親会社株主に帰属する四半期純利益	132	156

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	132	156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	19
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△73	19
四半期包括利益	59	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59	175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,841	592	2,434	0	2,435	—	2,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,841	592	2,434	0	2,435	—	2,435
セグメント利益	109	56	166	0	166	—	166

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,056	634	2,690	0	2,691	—	2,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,056	634	2,690	0	2,691	—	2,691
セグメント利益	49	135	184	0	185	—	185

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。